

〈ミッション〉  
自 立  
追 究  
共 生



# 未来創造

松江市立義務教育学校  
玉湯学園 だより  
令和7年9月22日  
文責 田中 修

今年度のキーフレーズ

～自ら「気づき・考え・実行する」玉湯学園生のプライドをもって Let's GO～

ホームページもぜひご覧ください！



二次元コードをご利用いただくか、「玉湯学園ホームページ」で検索ください。  
※「つれづれ日記 2025」の写真については、活動の様子が分かる範囲にし、明度や彩度を低くしております。お気づきのことがありましたら、ご一報ください。

## 声聞けば…暑い…

「声聞けば 暑さぞまさる 蝉の羽の  
薄き衣は 身にきたれども」  
(和泉式部)

「蝉の声を聞くと、暑さも一段とまさって感じられます。蝉の羽のような薄い衣を、身にまもってはいるのですが。」

という解釈になるのでしょうか。近年は温暖化の影響からか、古（いにしえ）の人が詠んだ歌や当時からの慣用表現、時候の挨拶などの時期がずれているように感じられます。今年は、蝉すら暑さに負けたのか、声を聞くことが少なかったように思います。

『暑さ寒さも彼岸まで』の言葉だけは信じて、熱中症の心配をしない体育祭を願っています。



松江城にて

9月上旬には残暑厳しい中で、修学旅行や松江研修を実施しました。

松江城の天守閣は、思いのほか涼しい風が吹き流れ、真っ青な空と宍道湖の景色に、秋の訪れが近いことを感じました。

## 学園の活動 あれこれ☆彡

### 大人になっても心に残る一瞬を ～修学旅行(8年生)～

「学楽両道」をスローガンに、8年生が関西方面での修学旅行に出かけました。2学期がスタートしてすぐの9月3日～5日、2泊3日の旅行でした。感染症や猛暑による熱中症を心配していましたが、突然の台風発生により、天候の情報やニュースに気を揉みました。結果的には大きな影響を受けず、計画通り進みました。



ミッションは達成できた？

今年は京都での自主研修の他、大阪万博での研修もあり、例年とはまた一味違う経験ができました。結団式や出発式、解散式で、生徒代表から「感謝」「成長」という言葉が多く聞かれ、非常に頼もしく感じた8年生です。

この学びを、学校生活、日常生活に生かして、成長を続けてくれると思います。



賑わう京都の街で研修



万博会場の大屋根リング

## 市内全域でフィールドワーク

### ～松江研修(7年生)～

松江の自然や伝統行事、史跡文化など、様々なジャンルについて各班がテーマを設定し、それに基づいて班別自主研修の形で調査活動に取り組みました。

9月3日(水)はとても暑い1日でしたが、JRを利用しながら松江駅(松江テルサ)をゴールに市内(玉造温泉を含め)研修しました。

見学するだけでなく、インタビューしたり体験活動をしたりと、より理解を深めようとしている7年生でした。松江のよさを発掘、新発見したことをしっかりまとめ、プレゼンテーションしてほしいと思います。



## 水難事故から命を守る!

### ～水上安全法(7年生)～

松江研修に出かける前日の9月2日(火)、7年生はB&G海洋センターで、着衣水泳(正式な名称ではないようですが)や溺れた人の救助方法などを学習しました。

日本赤十字社島根県支部から3名の講師先生を派遣していただき、有意義な授業となりました。また、テレビや新聞の取材もあり、取組を紹介していただきました。

※詳しくは、HPをご覧ください。



## 町内の保育園に出かけました

### ～保育実習(9年生)～

家庭科の授業で、保育実習を実施しました。

1組は3日に湯町保育園で、2組は5日にさくら保育園、さくら第2保育園で活動させていただきました。

「みんなとても元気で感情がとても豊かなことに、改めて気づきました。」「子供たちと一緒に遊んでいると、表情の豊かさや素直さが素敵だなと思いました。」「こどもと関わる仕事は、たくさんの気づきや責任があるということを実感しました。」「(先生方は)考えていることや感じていることが違う幼児との関わりは難しいのに、1人1人に合わせて動いておられるところに尊敬を覚えます。」

生徒の感想からは、園児や先生方から多くの学びを得たことが伝わりました。ご協力ありがとうございました。

## 宍道湖といえば…、島根といえば…

### ～しじみ漁出前講座(3年生)～

9月9日(火)、3年生は社会科の時間に、宍道湖漁業協同組合の方としじみ漁師さんにお越しいただき、出前授業を行いました。

※3年生の学級だよりから紹介します。

初めに、宍道湖の面積、水深、汽水湖であること、生息している生き物など、宍道湖についてたくさんのお話を教えていただきました。次に、「しじみ漁のひみつ」として、漁の方法、道具、しじみの選別の仕方、しじみを守るためのルールなど、動画や実物を使ってわかりやすく説明していただきました。(中略)質問タイムでは次々と手があがり、時間が足りないほどでした。最後に、全員がじょれん(しじみをとる道具)を持たせていただきました。予想以上の重さに驚き、しじみ漁の大変さを少しでも実感できたようです。



## 「読書の秋！」の、その前に。。。 ～ペア読書(1年生・5年生)～

本校で取り組んでいるペア読書について、以前にHPで紹介したことがあります。

「読書が大事だ」と主張する人(学者)は、たくさんいます。そして、「なぜ大事なのか」にはいろいろな理由や主張があるようです。

難しい話は傍らにそっと置いて、まずは本に親しみ、読書を楽しんでもらいたいです。その経験が重なって、「行間を埋めて、推論したり、想像したり」できるようになると思います。

9月9日(火)は、5年生の児童が1年生教室に出向いて、読み聞かせをしました。ろう下やベランダに出たり、机をつけてみたり、思い思いの場所で絵本を読んでいた。



各教室のベランダでも

## 平和について学び続ける ～平和学習(6年生)～

9月9日(火)の話題が続きますが、この日6年生は、ノーベル平和賞を受賞した被団協(日本原水爆被害者団体協議会)の代表理事である本間さんのお話を聴く機会を得ました。本間さんは松江市にお住まいで、島根県原爆被害者協議会の会長をお務めでもあります。

1学期に広島へ修学旅行に出かけ、また、玉湯空襲についての講演を聴くなど、学習を深めてきた6年生。今回は、原爆投下による悲惨な出来事のみならず、被団協がノーベル平和賞を受賞した意味や、オスロでの授賞式、選考委員長がスピーチに込めた思いなど話題が広がり、新たな視点から学びを深めました。



第1図書館の壁面飾り(秋)

## 玉湯公民館で開催されました ～松江市科学作品展～

9月20日(土)・21日(日)、公民館の大ホールで開催されました。本校からは20点を出品し、特選3点、入選17点の結果でした。テトルやHPでご案内しましたが、ご覧になられたでしょうか？

身近な課題や着眼点のおもしろさ、継続研究など粘り強い取組、ICT機器を活用したり、グラフや写真を使用したりと、説得力のあるまとめ方など、児童生徒のがんばりが伝わってくる作品の数々でした。

【特選作品】(本学園関係分)

「研究題目」氏名(学年):敬称略

- 「アリは砂漠を渡れるのか？」小村(8)
- 「宍道湖の水質および農業用水としての利用可否の検証」松山(8)※県展に出品
- 「身の回りのものを使った効率の良いきれいな水の作り方」稲田(8)

日々の平和な生活の大切さを語る本間さん



選考委員長さんは最年少の若さだったとか

